

LSEG FX

2025年のFX市場 次世代への対応

lseg.com/ja/fx



イントロダクション



LSEG FX

FX市場の参加者は、世界的な出来事による市場への影響から、新しいテクノロジーや規制の進展への対応まで、さまざまな課題に直面しています。

本調査レポートでは、FX取引企業が注目する重点分野を分析し、市場参加者が自社の取り組みを市場全体の動向と比較し、成長機会を見出し競争力を維持するための指針を提供します。

本レポートは2部構成の第2弾であり、テクノロジー投資の管理、イノベーションと次世代ソリューション、流動性の分断への対応、FXワークフローの自動化といった、400名の調査回答者が重要テーマとして挙げた領域を取り上げます。



FX市場の2025年：
リスクと規制の管理

※第1部のレポートはこちらからダウンロードできます。

調査方法と回答者



LSEGによるFX市場調査は2024年第4四半期に実施され、現代のFX市場におけるトレンドと課題を詳細に把握することを目的としました。市場参加者が直面する問題を特定し、それに対応するために必要な投資分野を明らかにすることで、リスク管理、新たな取引機会の獲得、テクノロジー導入、ワークフローの効率化に対する意欲を示しています。

回答者は世界中のFX市場参加者400名で、さまざまな役職や組織タイプに属しています。内訳は、バイサイドが62%、セルサイドが38%。大半はFXトレーディング業務に従事しており、その他にはリスク管理、ミドル・バックオフィス、テクノロジー、FX営業、企業財務などの役割が含まれます。結果は地域、組織タイプ、企業規模別に分析しました。詳細なプロフィールは [Appendix](#) をご参照ください。

LSEG FX

主要な調査結果

LSEG FX

FX市場における企業の重点分野

01

テクノロジー投資では取引プラットフォーム、データ分析、リスク管理システムが中心

回答者の50%が、効率性向上を目的にテクノロジー支出の管理と配分を優先事項としています。中でも、取引プラットフォーム(54%)、データ分析・市場インテリジェンス(51%)、リスク管理システム(50%)がトップ3です。

02

API、アルゴリズム取引、AI/機械学習、レギュラトリーテクノロジーなどの次世代ソリューションが鍵

これら4分野は回答者の44～46%から重要視されています。

03

市場の分断は依然としてFX取引企業にとって課題

流動性の分断は長年にわたりFX市場の中心的テーマであり、40%が重点分野と回答。ただし、2025年にかけて課題感は減少するとの予測もあります。

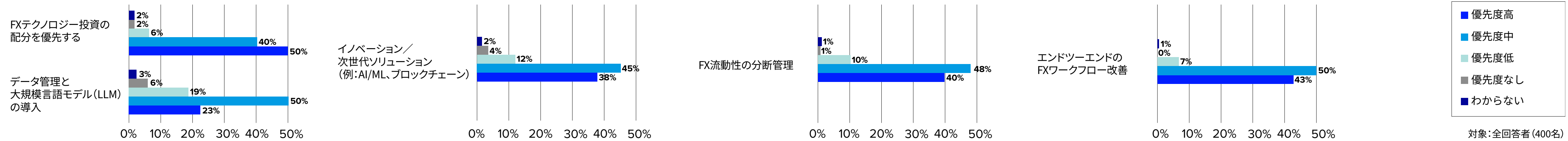
04

ワークフローの効率化はリスク管理、CRM、データ管理・分析において優先事項

ワークフローの自動化は、業務効率の向上、コスト管理、顧客体験の改善を目的に導入されています。

Chart 1: グローバルFXコミュニティの主要優先事

質問: 以下の分野は、貴社にとってどの程度優先度が高いですか？



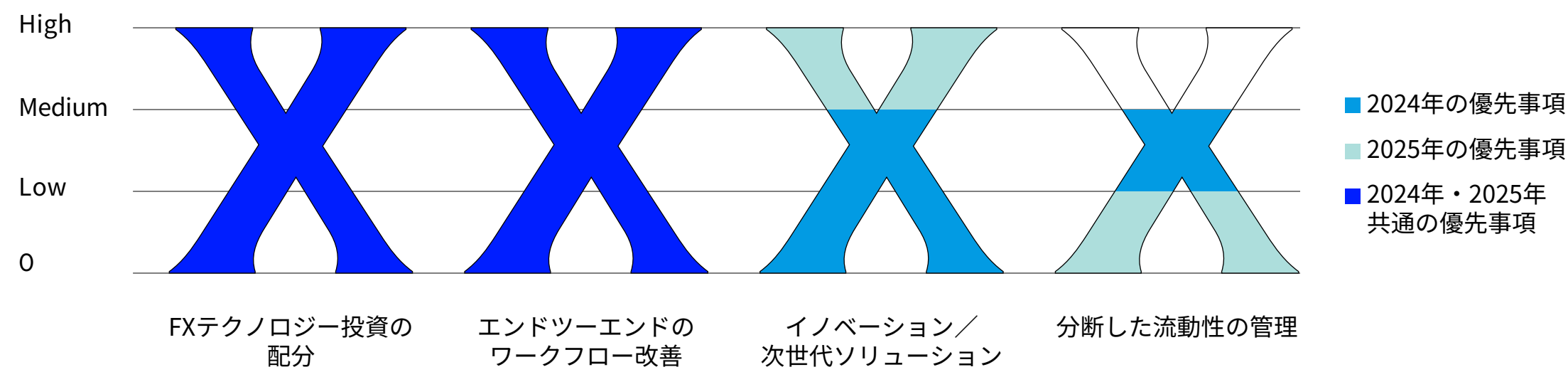
主要な調査結果

テクノロジーとイノベーションを活用した 効率化と成長促進

テクノロジー予算の配分は、分断されたFX市場を乗り越えるための重要課題です。さらに、バイサイド・セルサイド双方で、取引ワークフローの大部分を自動化し、コスト削減と精度向上を図っています。例えば、実行アルゴリズムを活用して取引スピードを高め、スリッページを減らし、取引結果を改善することや、決済・確認・規制報告などのポストトレード処理を自動化する取り組みが挙げられます。

革新的なテクノロジーの選定と導入は、将来的な成長と競争力維持の鍵です。データソースを拡充して分析精度を高める、オープンなメッセージングを通じて取引データやポストトレードのパフォーマンスレポートを共有するなど、こうしたテーマはすべて、FX取引企業の収益性と効率性を高める要因となります。

2024年と2025年の優先事項



優先事項 1

テクノロジー投資の管理

LSEG FX

テクノロジー投資の管理

FX取引企業は、
取引プラットフォーム、データ分析、リスク管理システムの
3つの主要分野への投資を優先しています。

調査では、回答者の50%がテクノロジー投資の配分を最重要課題と回答(図表1参照)。特にリスク管理やミドル・バックオフィス業務に従事する回答者では59%に上昇しました。企業は競争力維持、コスト削減、効率性向上のため、テクノロジー導入を継続する重要性を認識しています。

FX市場の参加者は、アルゴリズム取引、AI、分析などの分野で急速な進化が進む中、継続的なテクノロジー投資の必要性を強調しました。

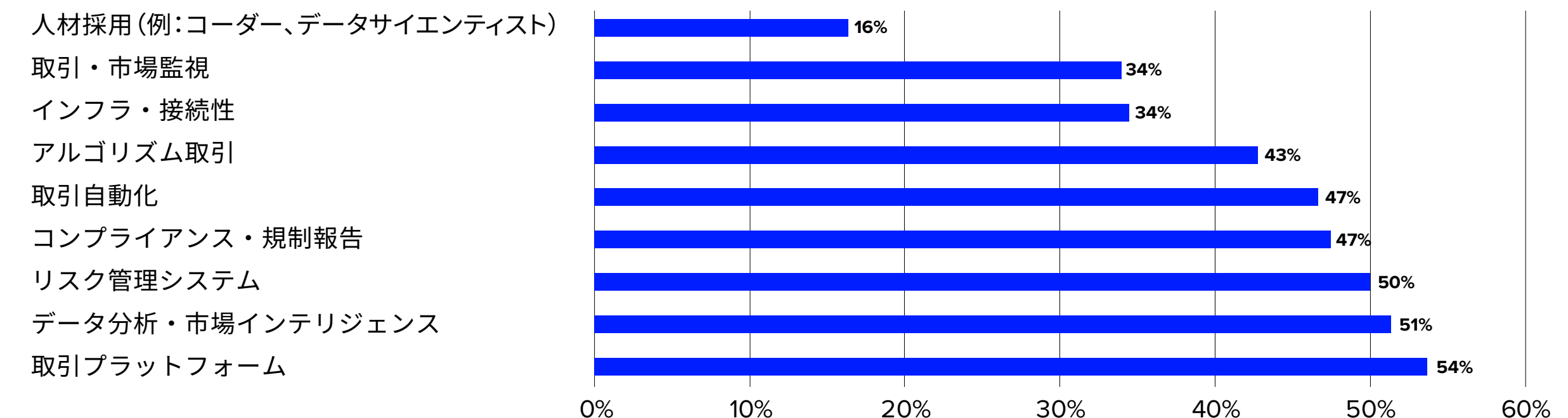
一方で、新しいテクノロジーを既存システムに統合することは、時間とコストがかかり複雑であることも認識されています。テクノロジー投資管理の課題の一つは、**絶え間ないイノベーションへの対応**であり、複数の技術を調査・評価するための時間とリソースが必要です。

“テクノロジーへの投資不足は、
急速に変化する市場での
パフォーマンスに影響します。”

FXプロフェッショナル(インド)

Chart 2: テクノロジー投資の配分

質問: 今後12か月間において、以下の分野は貴社にとってどの程度投資の優先事項となりますか？

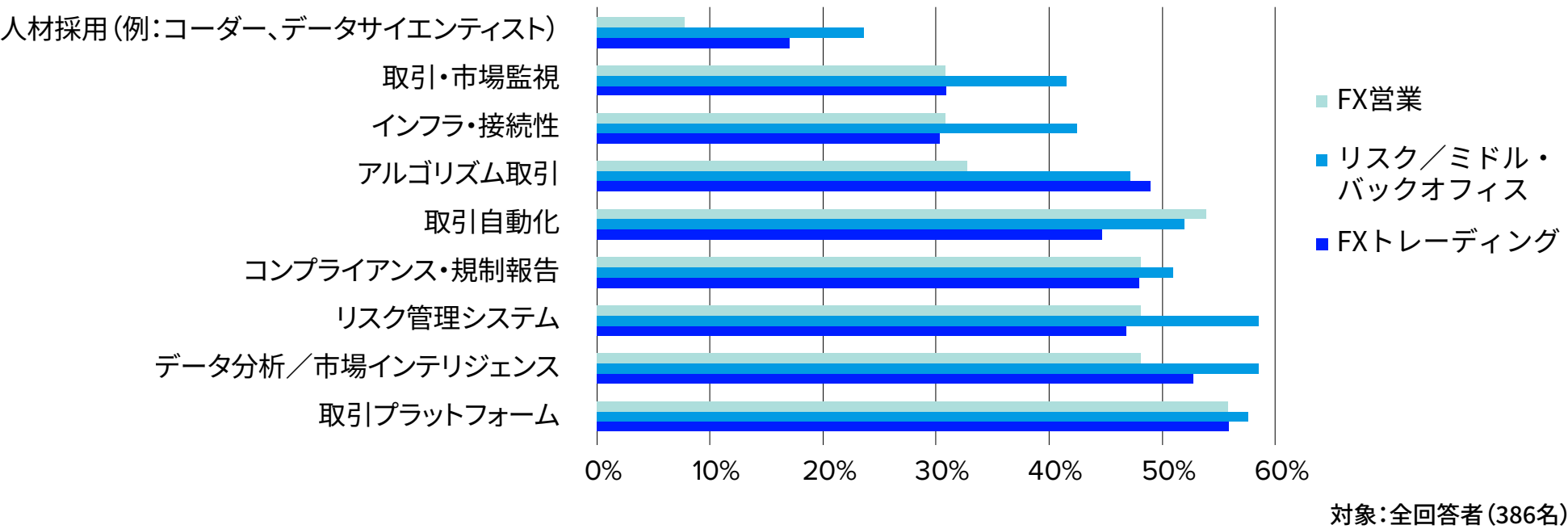


対象: 全回答者(386)

テクノロジー投資の管理

Chart 3: 役割別のFXテクノロジー投資配分

質問: 今後12か月間において、以下の分野は貴社にとってどの程度投資の優先事項となりますか？



上位4つの優先分野である**取引プラットフォーム**、**データ分析**、**リスク管理システム**、**コンプライアンス**は、FX市場で成功するための重要な要素です。

世界全体で54%の回答者が、テクノロジー投資の最優先事項として**取引プラットフォームの管理または導入**を挙げました。高度な取引プラットフォームは、市場データへのアクセスを強化し、取引実行を容易にし、市場成長を促進するために不可欠と認識されています。

アルゴリズム取引は全体では43%と予想より低い結果でしたが、FXトレーディング業務に従事する回答者では49%に上昇しました。これは、**フロントオフィスでアルゴリズム取引のメリットがより顕著**であることを示しています。アルゴリズム取引は、より活発な取引企業にとって重要であり、バイサイドの小規模企業や法人では優先度が低い傾向があります。

過半数の回答者が、**データ分析と市場インテリジェンス**をテクノロジー投資の優先事項として挙げています。これは、**実行分析の進化**、**ベンチマーク比較**、**データ分析による透明性向上**が、企業のリスク管理を強化するためです。

LSEG FX

従来、トランザクション・コスト分析 (TCA) はポストトレードサービスでしたが、データセットの増加と高度な分析により、現在では**プレトレードTCA**が可能となり、最良のリターンをもたらす戦略を事前に特定できます。

インフラや接続性への投資は、**小規模企業やバイサイド企業、リスク管理・ミドル／バックオフィス業務の回答者**にとってより優先度が高い傾向があります。一方、取引・市場監視は34%と低い結果でしたが、最近の罰金の規模を考えると意外です。これは、バイサイドがセルサイドほど影響を受けていないことを反映している可能性があります。

イノベーションや次世代ソリューションに関しては、**APIと接続性**が今後12か月の優先事項として46%の回答者に挙げられました (図表9参照)。これは、APIが市場管理に最も適した手段であるためと考えられます。

“アルゴリズム取引やAIの進化に対応するには、
継続的なトレーニングと投資が必要です。”

FXプロフェッショナル (フランス)

優先事項 2

エンドツーエンドの ワークフロー改善



LSEG FX

エンドツーエンドのワークフロー改善

今年、FX企業はリスク管理、CRM（顧客関係管理）、データ管理と分析に重点を置いています。

ワークフローの効率化は、業務効率の向上、コスト管理、顧客体験の改善を目的とする全企業共通の課題です。取引ライフサイクル全体を見ると、1件の取引に4～10以上のアプリケーションを使用することが一般的であり、ワークフローの自動化による効率化効果は非常に大きいと考えられています。

リスク管理ワークフロー

回答者の57%が、2025年に最適化すべき優先事項としてリスク管理ワークフローを挙げています（図表4参照）。

CRM（顧客関係管理）

全体では55%、FXトレーディング業務では60%がCRMを優先事項と回答しました。これは、営業担当者が**構造化された、公平でバランスの取れた方法で顧客に情報を提示できるツール**の重要性を認識しているためです。

顧客の経験や期待は多様化しており、テクノロジーの進化に伴い、**迅速な実行、効率的な価格設定、より高品質なサービス**が求められています。ユーザーフレンドリーなインターフェースによるサービス強化も期待されています。

地域別では、CRMの重要性は**アジア（63%）**でより高く、**米州（46%）**では低い結果となりました。これは、アジアに小規模銀行や資産運用会社が多いことが要因と考えられます。

データ統合とAPI統合

エンドツーエンドのワークフロー改善に向けた投資分野として、**データ統合とAPI統合**が上位に挙げられました（図表5参照）。

- 大規模企業の73%が、データ統合と手作業の自動化に注力
- 小規模企業では56%

大規模企業は取引関係が多く、膨大なデータを扱うため、**顧客との統合や取引データ分析の価値が高い**と考えられます。

その他の注目点

- セルサイド企業では、**統合型取引プラットフォームへの投資**が重要
- リスク管理やミドル・バックオフィスでは、**リアルタイム監視／アラート、カスタマイズ可能なワークフローやダッシュボード**への投資が優先

これらの進化は、**手作業の削減、人為的ミスの防止、業務時間の有効活用**につながります。

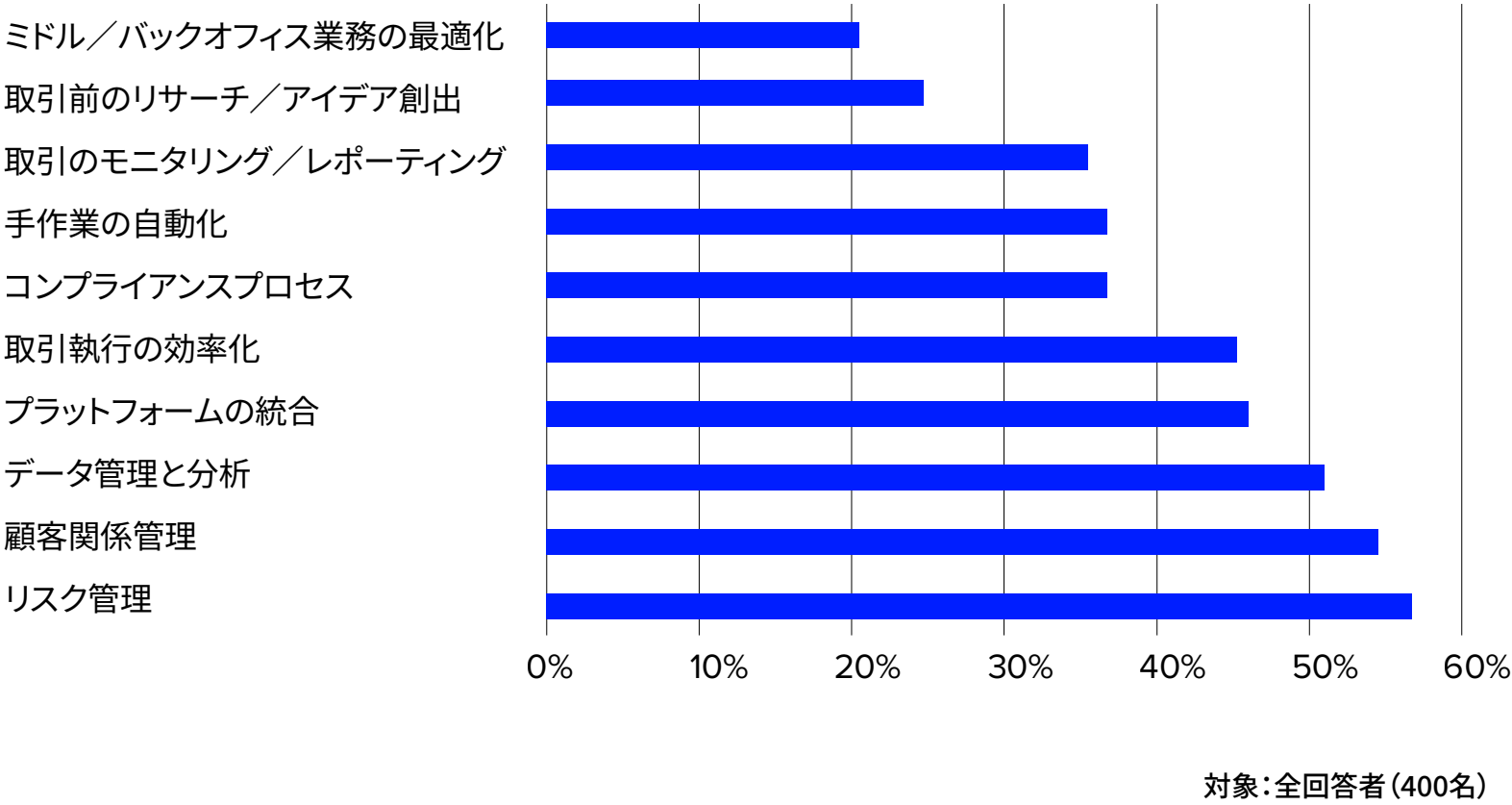
“テクノロジーの進化により、顧客はより迅速な実行、優れた価格、そして高品質なサービスを求めるようになり、既存リソースに負荷がかかっています。”

FXプロフェッショナル（シンガポール）

エンドツーエンドのワークフロー改善

Chart 4: FXワークフロー最適化の優先事項

質問: 今後1年間で、貴社が最適化を優先するワークフローの側面はどれですか？



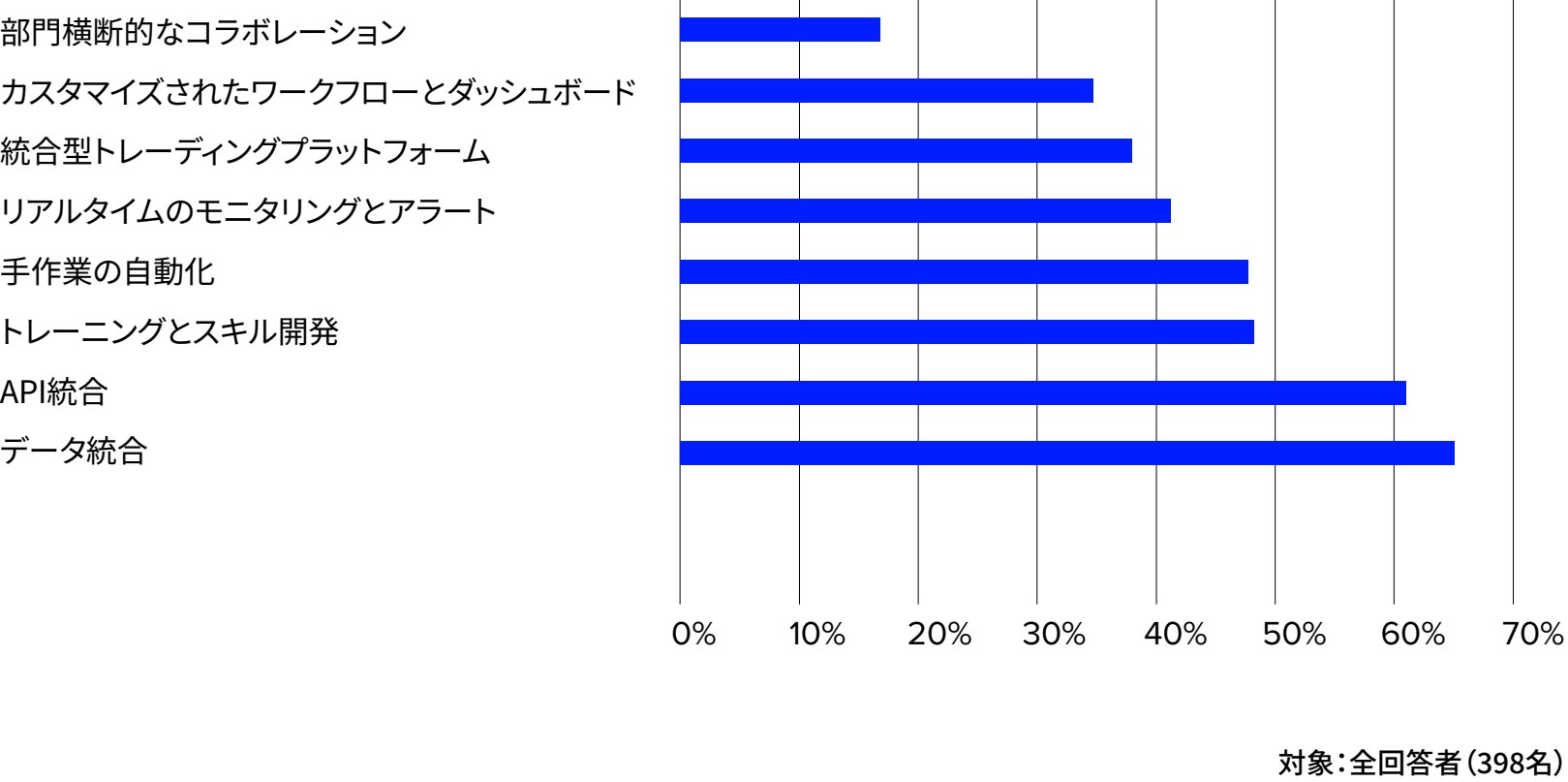
“組織が成長するにつれ、
インフラを効果的にスケールさせることは
ますます難しくなっています。”

FXプロフェッショナル (英国)

LSEG FX

Chart 5: FXワークフローへの投資の優先事項

質問: 今後12か月間で、エンドツーエンドのワークフロー改善のために、貴社は以下のアプローチへの投資を検討していますか？

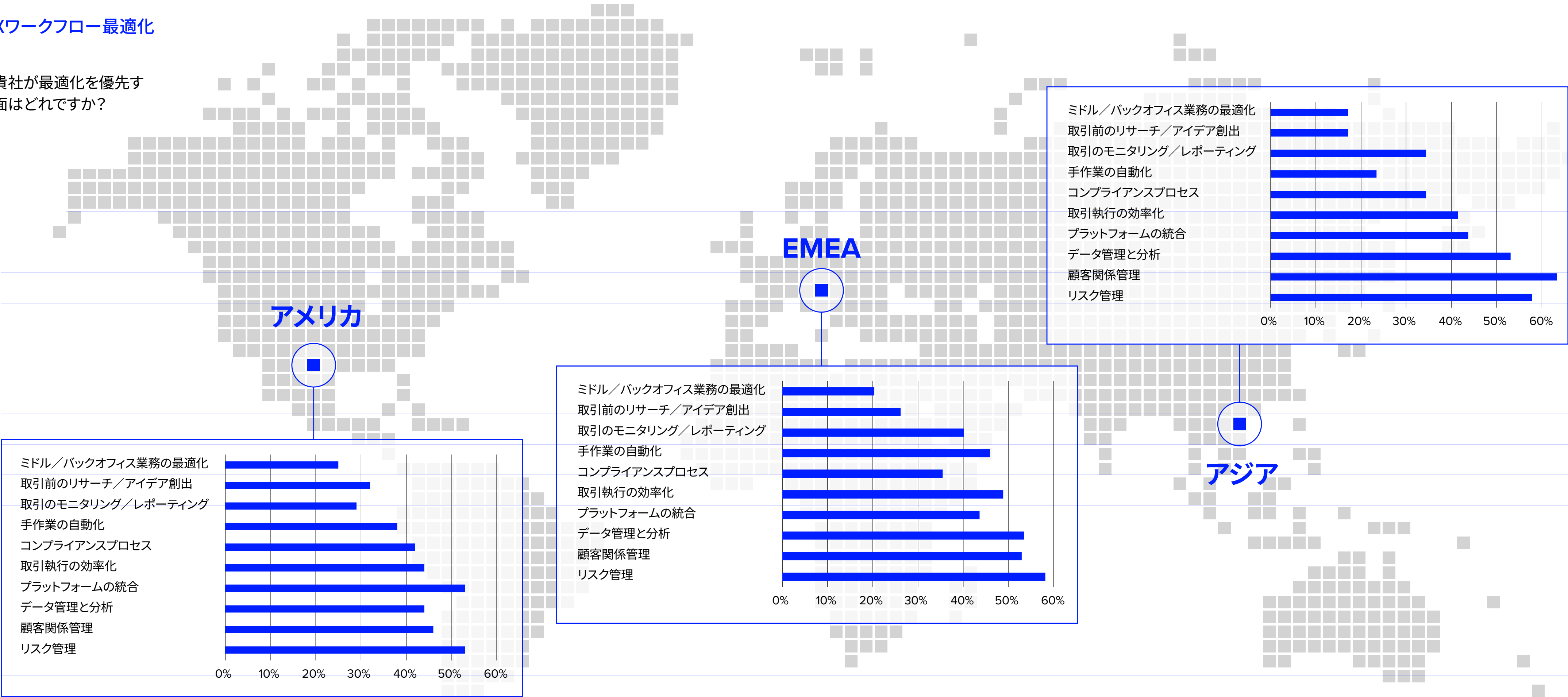


ワークフロー自動化のためのテクノロジーは、FX取引のあらゆる部分に浸透しつつあり、自然言語処理 (NLP) がより迅速な技術開発を可能にし、Microsoft Teamsのようなプラットフォームとの相互運用性を備えたサービス設計が進むことで、さらに拡大する見込みです。

エンドツーエンドのワークフロー改善

Chart 6: 地域別FXワークフロー最適化の優先事項

質問: 今後1年間で、貴社が最適化を優先するワークフローの側面はどれですか？



優先事項 3

分断したFX流動性の管理

LSEG FX

分断したFX流動性の管理

回答者の37%がFX流動性の分断を優先課題とし、最大の課題は取引コストの増加と回答しました

流動性分断の管理は、複数の流動性プールにアクセスするセルサイド企業や大手資産運用会社にとってより重要ですが、マルチディーラープラットフォーム（例：FXall）を通じて取引銀行にアクセスできる企業や小規模トレーディング会社にとっては問題が少ない傾向があります。

取引コストにはスプレッドや市場インパクトだけでなく、O/EMS、接続性、インフラ、データセンターホスティング、技術スタッフなどのテクノロジーコストも含まれる場合があります。

また、複数ソース間での流動性管理、異なる取引会場間でのデータ・情報の不一致、追加的なリスクやコンプライアンス対応も課題として挙げられています。データ・情報の不一致管理は、セルサイド（20%）よりもバイサイド（31%）で優先度が高く、これはセルサイドの技術予算が限られていることが要因と考えられます。

複数の取引会場や取引所からFX流動性にアクセスするためにはテクノロジーが必要であり、TCA（取引コスト分析）は最適な流動性ソースを特定するのに役立ちます。しかし、市場知識を持つ人材も不可欠であり、流動性の再利用や市場ストレス時の取引（例：2025年4月2日の「解放記念日」関税発表時のボラティリティ）などの課題を理解しています。LSEG FXでは2025年4月に平均日次取引高（ADV）が5,624億ドルに達し、今年の市場のボラティリティ増加を示しています。

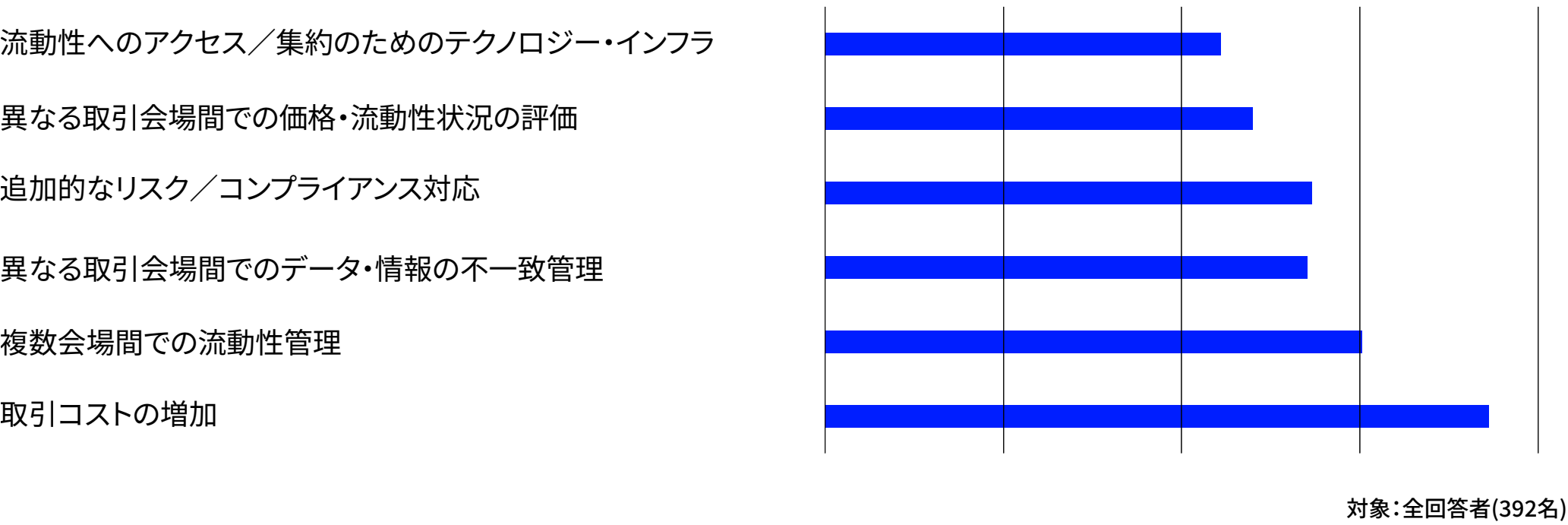
“市場状況を分析し、
最適なタイミングで
取引を実行するアルゴリズム
取引戦略を導入し、
関連コストを削減しています。”

FXプロフェッショナル（米国）

分断したFX流動性の管理

Chart 7: 分断したFX流動性の管理の課題

質問: 分断したFX流動性の管理 において、貴社が直面している主な課題は何ですか？

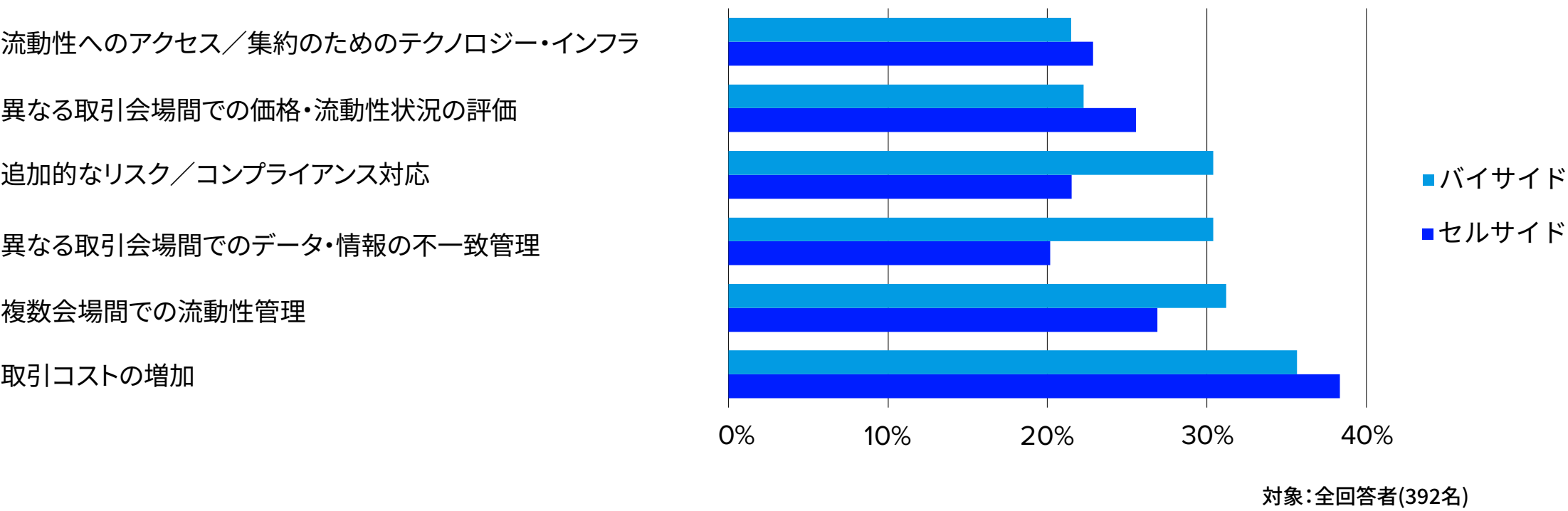


“すべてのプラットフォームで利用可能な流動性に関する継続的な更新を提供するリアルタイムデータ統合技術に投資しています。”

FXプロフェッショナル(香港)

Chart 8: バイサイド、セルサイドに渡る、分断したFX流動性の管理の課題

質問: 分断したFX流動性の管理 において、貴社が直面している主な課題は何ですか？



分断したFX流動性の管理

調査結果：流動性管理への対応方法

テクノロジーインフラへの投資

クラウドベースシステムへのアップグレード、リアルタイム流動性に基づく最適な取引会場選択アルゴリズム、インテリジェント注文ルーティングの導入。

市場データと分析ツールの活用

詳細な市場データフィード購読、定期的な市場分析レポート作成、ベンチマーク価格モデルの開発。

流動性プロバイダーの集約

複数会場へのアクセス、スマート流動性アグリゲーターによるデータ統合、リアルタイム集約技術への投資。

取引戦略の適応

大口注文の分割、アルゴリズム取引戦略の採用、異なる通貨ペアへの分散。

リスク・コンプライアンス管理の強化

強固なリスク管理戦略の採用、非効率な取引防止手続きの改善、新規規制・技術への対応。

データ管理への注力

内部データウェアハウス構築、データ精度確保のための自動化・機械学習活用、定期的なデータ検証。

“スマート流動性アグリゲーターの活用により、複数の流動性プロバイダー間で効率的な取引管理が可能になりました。”

FXプロフェッショナル (英国)

LSEG FX

優先事項 4

次世代ソリューション



LSEG FX

次世代ソリューション

API、アルゴリズム取引、AI／機械学習、レギュラトリーテクノロジーは、イノベーションと次世代ソリューションにおける主要な機会です。

2025年において、特定のイノベーションや次世代ソリューションが自社でどの程度優先されるかを尋ねたところ、**APIと接続性**は全回答者の46%が優先事項と回答しました。これは、バイサイド企業(51%)でセルサイド企業(36%)よりも顕著に重要視されており、その理由はセルサイド企業がすでに複数の流動性プールへの接続を管理するためにこれらのソリューションを導入しているためと考えられます。

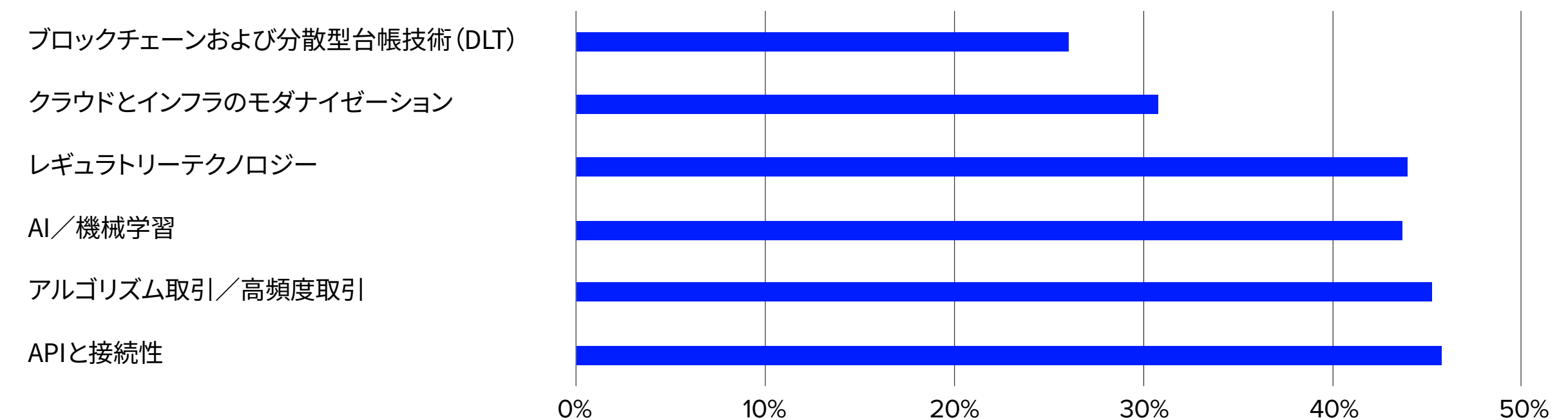
APIは長年利用可能ですが、導入は依然として困難です。APIごとに仕様が異なるためです。例えば、5つのAPIフィードを管理する場合、接続を確立する際だけでなく、APIがアップグレードされる際にも時間がかかります。多くの企業はこれ以上のAPIを保有していますが、少数のAPIを集約する場合でも、アグリゲーターが正しく機能するようにテストと最適化が必要です。

“テクノロジーはFX市場の成長において重要な役割を果たしており、企業は市場リスクを最小化するためにAI生成技術を活用しています。”

FXプロフェッショナル(英国)

Chart 9: 次世代ソリューションの優先度

今後12か月間で、以下の項目は貴社にとってどの程度優先事項ですか？

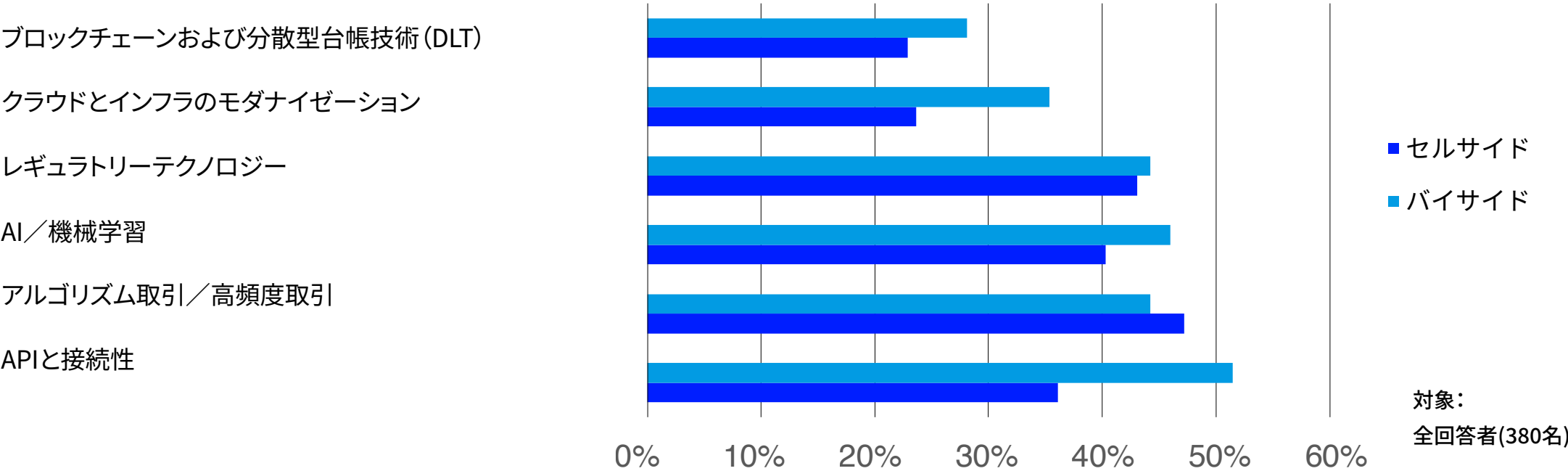


対象:全回答者(380名)

次世代ソリューション

Chart 10: バイサイドとセルサイドにおける次世代ソリューションの優先度

今後12か月間で、以下の項目は貴社にとってどの程度優先事項ですか？



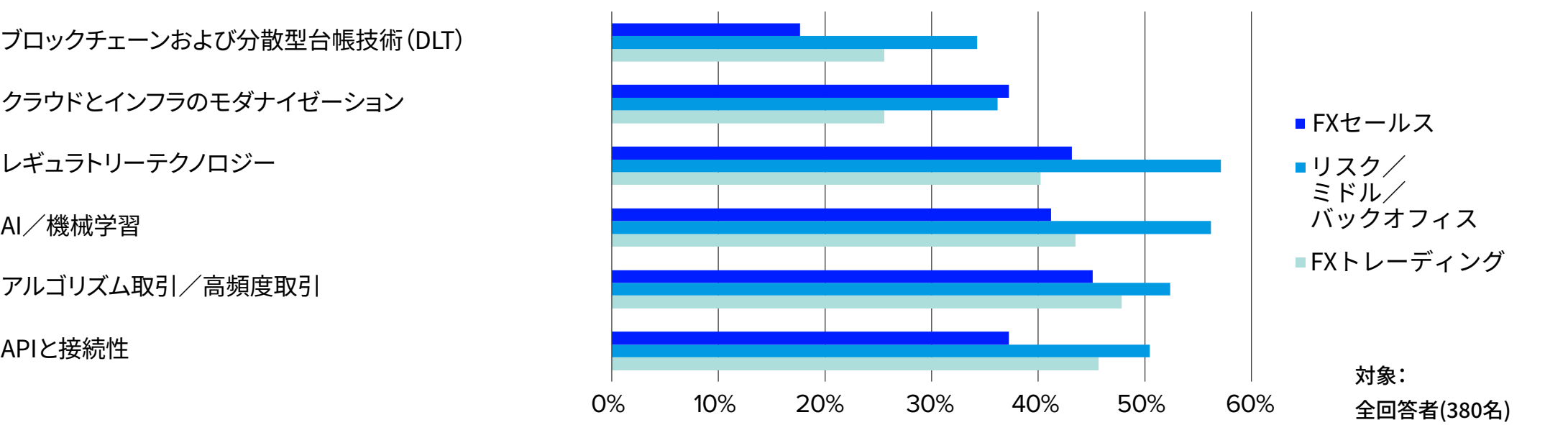
アルゴリズム取引／高頻度取引は全体で45%、AIと機械学習およびレギュラトリーテクノロジーは44%が優先事項と回答しました。AIの利用が増えるにつれ、アルゴリズムはより多くのデータを活用して進化する可能性があります。例えば、FXフォワードカーブは、ほぼ無限の情報源からAIでデータを収集・分析することで、より正確になると考えられます。

リスク管理、ミドル／バックオフィスの役割では、AI／機械学習とレギュラトリーテクノロジーの重要性が高く、回答者の50%以上がこれらを高い優先度としています。AIは手作業への依存を減らし、エラーを減少させ、全体的な効率を改善することで、ミドル／バックオフィスに大きなメリットをもたらす可能性があります。失敗もあるでしょうが、成功事例は市場参加者によって迅速に採用されるでしょう。レギュラトリーテクノロジーは、大規模企業でより高い優先度とされています。

その他の技術として、クラウドとインフラのモダナイゼーション（全体で31%、特に中小企業で優先度が高い）、ブロックチェーンとDLT（全体で26%、リスク・ミドル／バックオフィスの役割では34%）が挙げられました。ただし、DLTは複数の当事者による採用が必要であり、すでにAIに取って代わられつつある可能性があります。AIは急速に進化し、スケールや単独での導入が可能であり、複数のプロジェクトで効率性を実証しています。

Chart 11: 役割別次世代ソリューションの優先度

今後12か月間で、以下の項目は貴社にとってどの程度優先事項ですか？



“当社は自動化と機械学習を活用した検証およびデータ精度システムの導入を計画しています。”

FXプロフェッショナル (ドイツ)

テクノロジー

FX市場での成長と 競争力維持の鍵



LSEG FX

成長を促進し、競争力を維持する鍵

将来を見据え、調査ではテクノロジーに関連する5つの主要な成長ドライバーが特定されました

01 スピードと効率性を高めるためのテクノロジー投資

企業は、高度な取引プラットフォームと分析ツールを活用して取引を効率化する重要性を強調しました。さらに、アルゴリズムやAI／機械学習を利用して市場状況を評価し、取引意思決定を改善すること、低遅延ソリューションを採用して取引速度を向上させることが挙げられました。

“高度なテクノロジーを使用することで、
レイテンシを低減し、取引速度を向上できます。”

FXプロフェッショナル(香港)

“高度な取引プラットフォームと分析ツールの活用は、
取引効率を高めます。”

FXプロフェッショナル(香港)



成長を促進し、競争力を維持する鍵

02 データとインサイトを活用して意思決定とリスク軽減を支援

回答者は、市場変動に効果的に対応するためにリアルタイムデータとニュースへのアクセスが必要であると強調しました。高品質な経済データ、予測、リサーチ、分析は、市場状況を予測する上でトレーダーにとって非常に重要とされました。また、独自のインサイトや意見へのアクセスが価値を持ち、市場成長を促進することも指摘されました。

“地政学的要因を理解することで、
トレーダーは潜在的な市場混乱を
予測できます。”

FXプロフェッショナル(英国)

“タイムリーな情報への迅速なアクセスにより、
トレーダーは市場変動に効果的に対応できます。”

FXプロフェッショナル(フランス)



成長を促進し、競争力を維持する鍵

03 戦略の多様化と適応で競争力を維持し、リスクを軽減

異なる通貨への投資分散によるリスク管理は、競争力を維持するための重要な側面です。新しい市場への参入は、競争が少ないユニークな取引機会を提供しますが、市場変化を迅速に活用し、FXビジネスを収益性高く成長させるためには、機敏さと適応力が不可欠です。

“特定の市場を特定することで、競争が少なく、ユニークな取引機会を得られます。”

FXプロフェッショナル(オーストラリア)

“常に革新を続け、取引戦略やサービスを多様化させることで、クライアントにより大きな価値を提供することが重要です。”

FXプロフェッショナル(香港)



成長を促進し、競争力を維持する鍵

04 顧客関係の育成

回答者は、顧客関係とカスタマーサービスの重要性を強調しました。これには、市場に関する定期的なアップデートの提供、市場知識の提示、信頼構築、透明性の確保、顧客のビジネスを深く理解したうえでの高度にカスタマイズされたサービスの提供が含まれます。顧客ニーズに基づくサービス改善のための定期的なフィードバック提供も重要な要素として挙げられました。

“継続的改善のための顧客フィードバックは、顧客ニーズに基づくサービス向上に役立ちます。”

FXプロフェッショナル(カナダ)

“市場状況や企業ニュースを定期的に顧客に更新することで、エンゲージメントを高め、信頼を獲得できます。”

FXプロフェッショナル(インド)



成長を促進し、競争力を維持する鍵

05 AIの導入

AIと機械学習は、FX市場における効率性の向上と透明性の強化にますます重要な役割を果たしています。

現在のところAIの利用は限定的ですが、手作業で時間のかかるタスクを自動化し、価値の高いプロジェクトに人的リソースを振り向けることができるため、将来的には不可欠になると多くの人が考えています。

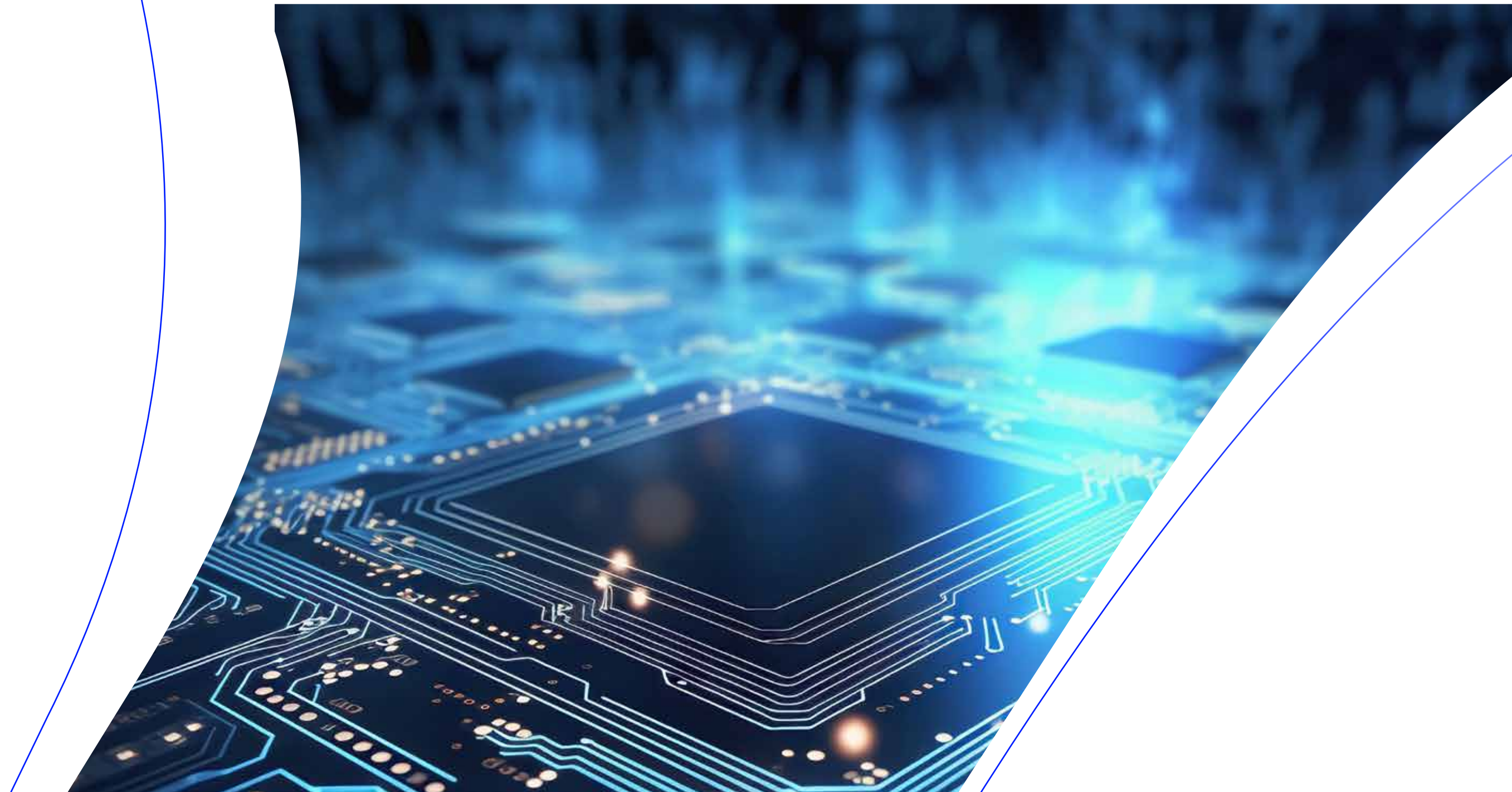
ただし、AIの採用が進むことで、リスク、コンプライアンス、テクノロジーのアップグレードに影響が及ぶことも予想されます。

“人工知能ツールの活用は、
取引手法における予測分析の改善に
役立ちます。”

FXプロフェッショナル (シンガポール)

“アルゴリズム取引やAI分析を含む技術革新の
急速な進展には、継続的なテクノロジー投資と
旧システムのアップグレードが必要です。”

FXプロフェッショナル (米国)



FX企業は、事業を効率的に成長させ、
競争力を維持するために、
リソースとテクノロジーへの投資を継続しています。

テクノロジー投資とその配分は、収益性と効率性を高めるための最優先事項です。

リスク管理への投資は今年も引き続き重要であり、リスクを適切に評価できないことによる財務損失への懸念が浮き彫りになっています。リスクをより適切に管理するために、企業は実行分析、ピアベンチマーキング、そしてこれらのソリューションが提供する市場の透明性をますます活用しています。

ワークフローの自動化は、企業が効率性を高め、競争力を維持するための重要な手段と認識されています。この点で、取引完了に必要なアプリケーション数を減らし、時間を短縮することは非常に有益です。例えば、**LSEG Workspace for FX Trading**を使用すれば、FXプロフェッショナルは単一のソリューション内でエンドツーエンドのカスタマイズされたFX取引ワークフローにアクセスできます。

AIは急速に進化しており、プロセスの合理化、トレンドの特定、手作業への依存削減といった面で新たな効率性をもたらす可能性があります。これにより、人為的なエラーの発生を減らし、チームメンバーをより価値の高い業務に振り向けることができます。

FXテクノロジー投資の
トップ3優先分野:

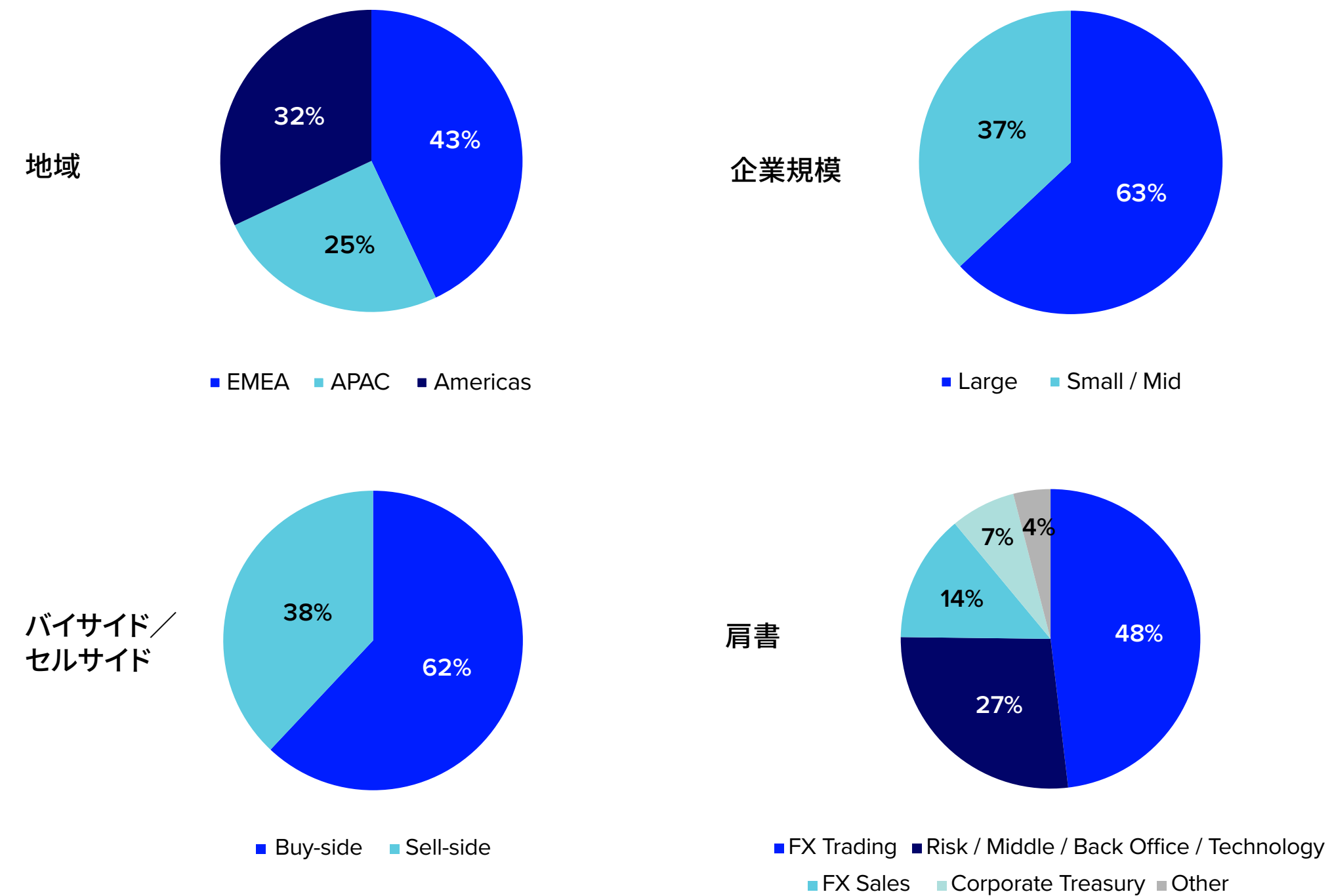
1. 取引プラットフォーム
2. データ分析と市場インテリジェンス
3. リスク管理システム

FX市場が進化し続ける中、グローバルな回答者の優先事項は現在も将来も一貫しています。

それは、**イノベーションと次世代ソリューション、ワークフローの自動化、FXテクノロジー投資の配分**です。

LSEG FX市場調査は2024年第4四半期に実施され、現在のFX市場におけるトレンドと課題に関する詳細なインサイトを提供することを目的としました。調査対象は世界中のFX市場参加者400名です。

サンプルプロファイル



About LSEG FX

29

LSEG FXは、信頼できるFX市場インサイトの世界有数の独立ソースであり、インターバンクおよびディーラー対顧客の電子取引プラットフォーム、ワークフロー管理、ポストトレードおよび規制対応を、セルサイドとバイサイドの市場参加者に提供しています。

LSEG FXポートフォリオには以下が含まれます

LSEG Workspace for FX Trading

強力でカスタマイズ可能なワークフローソリューションで、FX取引に必要な情報と分析を提供。

FXall

世界中の2,300以上の機関向けに、ディーラー対顧客取引およびワークフローソリューションを提供。これらの機関には資産運用会社、銀行、ブローカーディーラー、企業、ヘッジファンドが含まれ、200以上の銀行・ノンバンクマーケットメーカーからの流動性を提供。

FX Matching

ディーラー間コミュニティ向けのスポットおよびFXスワップ取引用匿名中央リミットオーダーブック。1,000以上の加入者を持ち、80以上の通貨ペアでスポットマッチングを提供。NDFマッチングも提供し、NDF中央リミットオーダーブックとクリアリングの利点を組み合わせ。

Electronic Trading

60か国以上で300以上の銀行に採用されている強力なeコマースソリューション。FX価格フローの構築、設定、自動化を可能にし、リスク管理を効率化して電子化需要に対応。

Deal Tracker

世界中の主要な外国為替プラットフォームでのすべてのFX取引をキャプチャし、取引前・取引中・取引後の会話型取引、確認済みチケット、ポストトレード通知を管理。

PriceStream

PriceStreamの効率的で標準化されたインターフェースを通じて、オフ会場のSEFおよびNDF取引を整理。

Advanced Dealing

メッセージャーとディーリングコミュニティを統合し、協調的な取引ワークフローを提供。

Trade Notification

幅広い取引タイプと資産クラスに対応するポストトレード要件を管理するための高速メッセージングハブ。取引先とシームレスに接続可能。

Trade Surveillance

高品質で信頼できるFXデータに基づいた新しいソリューションで、FX取引監視を強化。

Compliance Archive

メッセージと取引活動を効率的かつコンプライアンスに準拠した方法で再構築、監督、分析できる統合ポータル。

LCH ForexClear

市場参加者との協力で開発されたForexClearは、クリアリングを通じて資本、証拠金、運用効率を向上させ、LCHの実績あるリスク管理フレームワークと堅牢なデフォルト管理手続きを利用可能。

詳しくは lseg.com/ja/fx へ |  @LSEGPLC  LSEG

© LSEG 2025. All rights reserved.

LSEG does not guarantee that any information contained in this document is and will remain accurate or that use of the information will ensure correct and faultless operation of the relevant service or equipment. LSEG, its agents and employees, accepts no liability for any loss or damage resulting from reliance on the information contained in this document.

This document contains information proprietary to LSEG and may not be reproduced, disclosed, or used in whole or part without the express written permission of LSEG. Any software, including but not limited to, the code, screen, structure, sequence, and organisation thereof, and documentation are protected by national copyright laws and international treaty provisions. This document is subject to U.S. and other national export regulations. Nothing in this document is intended, nor does it, alter the legal obligations, responsibilities or relationship between yourself and Refinitiv, an LSEG Business, as set out in the contract existing between us.

LSEG FX